令和８年度第１回沖縄県地方創生推進会議

議事要旨（後半の部）

１　開催日時

令和８年 10 月１日（木）　14：00～16：00

２　場所

県庁　４階講堂

３　議題

（１）沖縄２１世紀ビジョンゆがふしまづくり計画の進捗状況について

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況等について報告し、
意見を求めた。

・主な委員からの質問・意見

【宮下委員】

〇委員意見

KPI の No22 の「新規学卒者の１年目離職率」について、沖縄労働局としても重要な問題だと認識している。離職要因として、企業側と働き手側の２つの要因があり、両方に対して支援できるような取組があると良い。例えば、企業に対しては働きやすい職場環境の整備、働き手に対しては大学側に向けたキャリア教育や、企業インターンシップの充実等を支援してほしい。

【宮里委員】

〇委員質問・意見

令和９年度の目標値を既に達成している KPI については、目標値を変更しないのか。

累積で目標値を設定している指標とそうではない指標があるが、累積の指標が分かりやすい。累積ではない目標値だと、例えば、「離島の航空

路の利用数」では、人口減少が続いている離島において、人口も大きく増えるわけではないのに利用数が伸びていくのは難しいと感じる。累積値であれば、理解できるため、KPI 設定については改めて検討してほしい。

〇事務局 仲本主幹（企画調整課）回答

目標値が既に上回っているものについては、令和７年度に新・沖縄２１世紀ビジョン中期実施計画の中で、目標値を上方修正した。一方で、修正した目標値を既に達成した指標もあるため、今後の計画を改定するタイミングでは、見直しをしていくと考えられる。

ご指摘のとおり、上限がある目標値も当然あるので、目標値の設定の仕方については、今後も工夫していきたい。

【前泊委員】

〇委員意見

KPI の No22 の「新規学卒者の１年目離職率」について、昨今の就職環境では、大学新卒３年目までは新卒と同じような扱いの目線があり、３年以内の離職のハードルが低下していると感じるため、同 KPI の離職率にも影響があると考えられる。

〇事務局 仲本主幹（企画調整課）回答

ご指摘のとおり、新規学卒者の離職、就業環境はかなり変わってきていると感じる。現状は、「離職率」といった KPI で評価しているが、環境変化等も踏まえながら、今後の KPI 設定を行っていきたい。

【平良委員】

〇委員意見

全体感として、県の人口増減と各 KPI の関係性を踏まえたうえで、施策の説明を行うと良い。例えば、人口減に対しての食い止め策として、この KPI を位置づけています等を明確にするなど。

〇事務局 仲本主幹（企画調整課）回答

ご指摘のとおり、人口が横ばいで自然減が明らかになってきており、

現状のままだと減少に向かうと考えられる。国の考え方も人口減を前提とした社会システムの維持が問題となっているが、それらを踏まえて KPI をどう位置付けていくか、今後も検討していきたい。